

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 木曾川水系大山田川(一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	木曾川水系大山田川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する木曾川水系大山田川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市大字福島地先～桑名市大字播磨地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度(5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	300m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	1,342m3		
	令和4年度	0m3(1,600m2)		
	令和5年度	900m3		
	令和6年度	100m3		
	計	2,642m3(1,600m2)		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	4,210	4,210	0
	令和3年度	13,500	13,500	0
	令和4年度	1,600	1,600	0
	令和5年度	5,000	5,000	0
	令和6年度	1,500	1,500	0
	計	25,810	25,810	0
事業の必要性、 緊急性	・木曾川水系大山田川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約3kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大山田川では、土砂堆積により部分的に流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の樹木等繁茂面積は約500m2、土砂堆積量は約2千5百m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約1.0千m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、約2千6百m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	大山田川では、播磨水位観測所(桑名市大字播磨地内)において水位の常時観測が行われている。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 木曾川水系沢北川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	木曾川水系沢北川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する木曾川水系沢北川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市大字播磨地先～桑名市大字下深谷部地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	200m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	80m3		
	令和4年度	80m3		
	令和5年度	120m3		
	令和6年度	400m3		
	計	880m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	9,873	9,873	0
	令和3年度	2,200	2,200	0
	令和4年度	2,100	2,100	0
	令和5年度	1,500	1,500	0
	令和6年度	5,000	5,000	0
	計	20,673	20,673	0
事業の必要性、 緊急性	・木曾川水系沢北川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約2kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・沢北川では、土砂堆積により部分的に流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は約600m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約520m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、約880m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	沢北川には、沢北上流水位観測所と沢北下流水位観測所 (ともに桑名市大字下深谷部地内) があり、水位の常時観測が行われている。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 木曾川水系流石川（一級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	木曾川水系流石川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所（所在地）)	三重県が管理する木曾川水系流石川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市大字下深谷部地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度（5年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m ³)	令和2年度	130m ³		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0m ³		
	令和4年度	5m ³		
	令和5年度	95m ³		
	令和6年度	100m ³		
	計	330m ³		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	2,860	2,860	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	1,500	1,500	0
	令和5年度	3,400	3,400	0
	令和6年度	4,500	4,500	0
	計	12,260	12,260	0
事業の必要性、 緊急性	・木曾川水系流石川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約1kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・流石川では、土砂堆積により部分的に流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は約200m ³ であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約195m ³ である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、約330m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	流石川には、国道258号の上流の橋梁に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 木曾川水系三砂川(一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	木曾川水系三砂川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する木曾川水系三砂川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所: 三重県桑名市大字下深谷部地先~桑名市大字上深谷部地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度~令和6年度(5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	230m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	156m3		
	令和4年度	5m3		
	令和5年度	239m3		
	令和6年度	1,000m3		
	計	1,630m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	3,700	3,700	0
	令和3年度	900	900	0
	令和4年度	300	300	0
	令和5年度	1,000	1,000	0
	令和6年度	9,800	9,800	0
	計	15,700	15,700	0
事業の必要性、 緊急性	・木曾川水系三砂川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約1kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・三砂川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は約2千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約1.6千m3である。			
浚渫目標	・令和2年度~令和6年度の5年間で、約1千6百m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	三砂川には、養老鉄道養老線の下流の橋梁に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 木曾川水系新田川(一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	木曾川水系新田川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する木曾川水系新田川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市多度町大鳥居地先～桑名市多度町下野代地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度(5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	760m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	520m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	140m3		
	令和6年度	2,040m3		
	計	3,460m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	10,686	10,686	0
	令和3年度	3,700	3,700	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	1,000	1,000	0
	令和6年度	20,300	20,300	0
	計	35,686	35,686	0
事業の必要性、 緊急性	・木曾川水系新田川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約1kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・新田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は約4千5百m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約3.2千m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、約3千5百m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	新田川には、上流部に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 木曾川水系肱江川(一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	木曾川水系肱江川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する木曾川水系肱江川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市多度町下野代地先～桑名市多度町美鹿地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度(5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	3,500m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	4,990m3		
	令和4年度	1,900m3		
	令和5年度	4,600m3		
	令和6年度	510m3		
	計	15,500m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	25,847	25,847	0
	令和3年度	34,300	34,300	0
	令和4年度	15,000	15,000	0
	令和5年度	30,000	30,000	0
	令和6年度	5,700	5,700	0
	計	110,847	110,847	0
事業の必要性、 緊急性	・木曾川水系肱江川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約10kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・肱江川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の樹木等繁茂面積は約1km ² 、土砂堆積量は約1万6千m ³ であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約5.6千m ³ である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、約1万5千m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	肱江川には、一般県道大泉多度線の橋梁に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 木曾川水系落合川(一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	木曾川水系落合川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する木曾川水系落合川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市多度町御衣野地先～桑名市多度町力尾地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度(5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	2,170m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	2,930m3		
	令和4年度	700m3		
	令和5年度	700m3		
	令和6年度	600m3		
	計	7,100m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	22,301	22,301	0
	令和3年度	20,100	20,100	0
	令和4年度	3,800	3,800	0
	令和5年度	12,000	12,000	0
	令和6年度	6,200	6,200	0
	計	64,401	64,401	0
事業の必要性、 緊急性	・木曾川水系落合川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約1.5kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・落合川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は約6千5百m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約1.3千m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、約7千1百m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 木曾川水系多度川(一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	木曾川水系多度川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する木曾川水系多度川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市多度町香取地先～桑名市多度町多度地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度(4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	3, 655 m3		
	令和4年度	4, 220 m3 (100m2)		
	令和5年度	1, 000 m3		
	令和6年度	625 m3		
	計	9, 500 m3 (100m2)		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	14,000	14,000	0
	令和4年度	31,300	31,300	0
	令和5年度	12,000	12,000	0
	令和6年度	4,200	4,200	0
	計	61,500	61,500	0
事業の必要性、 緊急性	・木曾川水系多度川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約6kmの一級河川であり、氾濫が発生した場合の被害は甚大である。 ・多度川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の樹木等繁茂面積は約1km ² 、土砂堆積量は約2万6千m ³ であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約18.1千m ³ である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和6年度の4年間で、約9千5百m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	多度川には、多度大社の南側の橋梁に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 木曾川水系鍋田川(一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	木曾川水系鍋田川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する木曾川水系鍋田川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名郡木曾岬町大字源緑輪中地先～木曾岬町大字新加路戸地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和6年度(3年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の樹木伐採量) (単位:m2)	令和2年度	0m3(0m2)		第三種建設発生土 又は 第四種建設発生土
	令和3年度	0m3(0m2)		
	令和4年度	1,600m3(0m2)		
	令和5年度	5,000m3(0m ³)		
	令和6年度	7,400m3(6,500m ³)		
	計	14,000m3(6,500m ³)		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	45,000	45,000	0
	令和5年度	56,100	56,100	0
	令和6年度	80,000	80,000	0
	計	181,100	181,100	0
事業の必要性、 緊急性	・木曾川水系鍋田川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約8kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・鍋田川では、河川断面内に樹木が繁茂しており、治水安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の樹木等繁茂面積は約6千5百m ² 、土砂堆積量は約1万4千m ³ であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の河道内の樹木等繁茂面積は約6.5千m ² 、堆積量は約12.4千m ³ である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和6年度の4年間で、約6千5百m ² の樹木伐採と約1万4千m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	鍋田川では、上流排水機場の加路戸水位観測所(木曾岬町大字加路戸地内)において水位の常時観測が行われている。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系員弁川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系員弁川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する員弁川水系員弁川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市大字福江地先～いなべ市藤原町篠立地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度(5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	7,320m ³ (35,000m ³)		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	23,356m ³ (11,400m ³)		
	令和4年度	26,200m ³ (21,600m ³)		
	令和5年度	27,044m ³ (43,600m ³)		
	令和6年度	24,800m ³ (23,400m ³)		
	計	108,720m ³ (135,000m ³)		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	127,416	127,416	0
	令和3年度	180,942	180,942	0
	令和4年度	174,900	174,900	0
	令和5年度	110,000	110,000	0
	令和6年度	88,800	88,800	0
	計	682,058	682,058	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系員弁川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約36kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・員弁川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の樹木等繁茂面積は約16万m ² 、土砂堆積量は約145万m ³ であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の河道内の樹木等繁茂面積は約9万m ² 、堆積量は約139万m ³ である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、絶滅危惧種のネコギギの保護、内水面漁協、海苔養殖者等に配慮しつつ約13万m ² の樹木伐採と約10万8千m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	員弁川では、上流部の阿下喜水位観測所(いなべ市北勢町阿下喜地内)、中流部の大泉水位観測所(いなべ市員弁町大泉地内)、都市部(下流域)の星川水位観測所(桑名市大字星川地内)と安永水位観測所(桑名市大字安永地内)において水位の常時観測が行われている。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系嘉例川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系嘉例川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する員弁川水系嘉例川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市大字巖新田地先～員弁郡東員町大字穴太地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度(4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	150 m3		
	令和4年度	500 m3		
	令和5年度	250 m3		
	令和6年度	100 m3		
	計	1000 m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	3,300	3,300	0
	令和4年度	900	900	0
	令和5年度	5,000	5,000	0
	令和6年度	2,600	2,600	0
	計	11,800	11,800	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系嘉例川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約3.5kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・嘉例川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は約2千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約1.4千m3である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和6年度で、内水面漁協等に配慮しつつ、約1000m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	嘉例川には、国道421号の橋梁に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系三孤子川（二級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系三孤子川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所（所在地）)	三重県が管理する員弁川水系三孤子川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市大字友村地先～いなべ市大安町南金井地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度（4年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	200 m3		
	令和4年度	300 m3		
	令和5年度	300 m3		
	令和6年度	1,600 m3		
	計	2,400 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	2,500	2,500	0
	令和4年度	2,500	2,500	0
	令和5年度	2,000	2,000	0
	令和6年度	10,000	10,000	0
	計	17,000	17,000	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系三孤子川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約7.5kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・三孤子川では、土砂堆積により部分的に流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は約4千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約3.5千m3である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和6年度の4年間で、内水面漁協等に配慮しつつ約2400m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	三孤子川には、東員町大字中上地内及びいなべ市大安町南金井地内の橋梁に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系藤川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系藤川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する員弁川水系藤川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県員弁郡東員町大字筑紫地先～東員町大字大木地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度(5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	2,500m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	200m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	1,800m3		
	令和6年度	200m3		
	計	4,700m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	22,022	22,022	0
	令和3年度	2,500	2,500	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	10,000	10,000	0
	令和6年度	1,000	1,000	0
	計	35,522	35,522	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系藤川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約5.5kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・藤川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は約5千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約2.3千m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、内水面漁協等に配慮しつつ約4千7百m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系養父川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系養父川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する員弁川水系養父川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県員弁郡東員町大字中上地先～いなべ市大安町前地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度(4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	4 6 0 m3		
	令和4年度	5 0 m3 (5, 7 0 0 m2)		
	令和5年度	6 0 0 m3		
	令和6年度	5 0 m3		
	計	1, 1 6 0 m3 (5, 7 0 0 m2)		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	5,000	5,000	0
	令和4年度	1,500	1,500	0
	令和5年度	6,000	6,000	0
	令和6年度	1,500	1,500	0
	計	14,000	14,000	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系養父川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約7kmの二級河川であり、氾濫が発生した場合の被害は甚大である。 ・養父川では、土砂堆積により部分的に流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は約800m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約650m3である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和6年度の4年間で、内水面漁協等に配慮しつつ約1,160m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	養父川には、いなべ市大安町梅戸地内の橋梁に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系牛ヶ谷川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系牛ヶ谷川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する員弁川水系牛ヶ谷川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県いなべ市大安町梅戸地先～いなべ市大安町南金井地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度(5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	100m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	100m3		
	令和6年度	100m3		
	計	300m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	2,072	2,072	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	1,000	1,000	0
	令和6年度	1,000	1,000	0
	計	4,072	4,072	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系牛ヶ谷川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約1kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・牛ヶ谷川では、土砂堆積により部分的に流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は約500m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約400m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、内水面漁協等に配慮しつつ約300m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	牛ヶ谷川には、いなべ市大安町南金井地内の橋梁に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系戸上川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系戸上川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する員弁川水系戸上川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県員弁郡東員町大字山田地先～いなべ市員弁町平古地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度(5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	760m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	630m3		
	令和4年度	4,430m3		
	令和5年度	3,700m3		
	令和6年度	400m3		
	計	9,920m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	3,100	3,100	0
	令和3年度	13,200	13,200	0
	令和4年度	38,300	38,300	0
	令和5年度	27,000	27,000	0
	令和6年度	7,000	7,000	0
	計	88,600	88,600	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系戸上川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約7kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・戸上川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の樹木等繁茂面積は約400m ² 、土砂堆積量は約1万2千m ³ であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約6.2千m ³ である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、内水面漁協等に配慮しつつ約9千9百m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	戸上川には、東員町大字北大社地内の橋梁に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
		都道府県名 又は 市区町村名			
		三重県			
		河川名 員弁川水系山神川（二級河川）			
		担当課室名 河川課 河川管理班			
		連絡先 059-224-2686			
事業名	員弁川水系山神川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (伐木、浚渫箇所（所在地）)	三重県が管理する員弁川水系山神川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県員弁郡東員町大字長深地先～いなべ市大安町梅戸地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和5年度～令和6年度（2年間）			土質区分	
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土	
	令和3年度	0 m3			
	令和4年度	0 m3			
	令和5年度	1, 500 m3			
	令和6年度	2, 800 m3			
	計	4, 300 m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和2年度	0	0	0	
	令和3年度	0	0	0	
	令和4年度	0	0	0	
	令和5年度	12,000	12,000	0	
	令和6年度	22,000	22,000	0	
	計	34,000	34,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系山神川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約3kmの二級河川であり、氾濫が発生した場合の被害は甚大である。 ・山神川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は約5千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約5.0千m3である。				
浚渫目標	・令和5年度～令和6年度の2年間で、内水面漁協等に配慮しつつ約4千3百m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	山神川には、東員町大字南大社地内の橋梁に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。				

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系宇賀川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系宇賀川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する員弁川水系宇賀川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県いなべ市員弁町北金井地先～いなべ市大安町石樽南地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和5年度～令和6年度 (2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3		
	令和5年度	2, 000 m3		
	令和6年度	1, 500 m3		
	計	3, 500 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	10,000	10,000	0
	令和6年度	8,000	8,000	0
	計	18,000	18,000	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系宇賀川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約9kmの二級河川であり、氾濫が発生した場合の被害は甚大である。 ・宇賀川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の樹木等繁茂面積は約1km ² 、土砂堆積量は約1万4千m ³ であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約14.0千m ³ である。			
浚渫目標	・令和5年度～令和6年度の2年間で、絶滅危惧種のネコギギの保護、内水面漁協等に配慮しつつ約1千5百m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	宇賀川には、一般県道四日市菟野大安線の橋梁に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系明智川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系明智川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する員弁川水系明智川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県いなべ市員弁町下笠田地先～いなべ市員弁町市之原地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度(5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	1,900m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	0m3(500m2)		
	令和5年度	2,500m3		
	令和6年度	100m3		
	計	4,500m3(500m2)		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	10,476	10,476	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	2,500	2,500	0
	令和5年度	15,000	15,000	0
	令和6年度	1,000	1,000	0
	計	28,976	28,976	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系明智川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約6kmの二級河川であり、氾濫が発生した場合の被害は甚大である。 ・明智川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の樹木等繁茂面積は約100m ² 、土砂堆積量は約5千m ³ であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約3.1千m ³ である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、絶滅危惧種のネコギギの保護、内水面漁協等に配慮しつつ約4千5百m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系源太川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系源太川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する員弁川水系源太川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県いなべ市大安町高柳地先～いなべ市大安町石搏北山地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度(5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	590m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	250m3		
	令和4年度	2,500m3		
	令和5年度	950m3		
	令和6年度	600m3		
	計	4,890m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	10,860	10,860	0
	令和3年度	7,000	7,000	0
	令和4年度	22,600	22,600	0
	令和5年度	5,000	5,000	0
	令和6年度	3,000	3,000	0
	計	48,460	48,460	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系源太川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約4kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・源太川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の樹木等繁茂面積は約1km ² 、土砂堆積量は約1万4千m ³ であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約10.7千m ³ である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、絶滅危惧種のネコギギの保護、内水面漁協等に配慮しつつ約4千9百m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	源太川には、いなべ市大安町高柳地内の橋梁に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他	※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載 予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系山田川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系山田川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する員弁川水系山田川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県いなべ市員弁町上笠田地先～いなべ市北勢町南中津原地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度(5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	6,200m3		第三種建設発生土
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	2,000m3		
	令和6年度	3,000m3		
	計	11,200m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	43,577	43,577	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	10,000	10,000	0
	令和6年度	20,000	20,000	0
	計	73,577	73,577	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系山田川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約6kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・山田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の樹木等繁茂面積は約1百m ² 、土砂堆積量は約3万6千m ³ であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約29.8千m ³ である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、絶滅危惧種のネコギギの保護、内水面漁協等に配慮しつつ約1万1千m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系青川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系青川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する員弁川水系青川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県いなべ市北勢町中山地先～いなべ市北勢町新町地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和6年度(3年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	5 2 0 0 m3		
	令和5年度	5 0 0 m3		
	令和6年度	1, 0 0 0 m3		
	計	6, 7 0 0 m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	10,000	10,000	0
	令和4年度	40,000	40,000	0
	令和5年度	2,000	2,000	0
	令和6年度	6,000	6,000	0
	計	58,000	58,000	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系青川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約5.5kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・青川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の樹木等繁茂面積は約2km ² 、土砂堆積量は約5万7千m ³ であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約51.3千m ³ である。			
浚渫目標	・令和4年度～6年度に、絶滅危惧種のコノギギの保護、内水面漁協等に配慮しつつ約6千7百m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 木曾川水系新堀川(一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	木曾川水系新堀川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する木曾川水系新堀川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市大字小貝須地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和5年度～令和6年度(2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3		
	令和5年度	2 0 0 m3		
	令和6年度	8 0 0 m3		
	計	1, 0 0 0 m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	5,000	5,000	0
	令和6年度	20,000	20,000	0
	計	25,000	25,000	0
事業の必要性、 緊急性	・木曾川水系新堀川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約3kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・流石川では、土砂堆積により部分的に流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は約1,000m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約1.0千m3である。			
浚渫目標	・令和5年度～令和6年度の2年間で、約1,000m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	新堀川に架かる干拓橋、小貝須端に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。 河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 木曾川水系松川(一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	木曾川水系松川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する木曾川水系新堀川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市長島町浦安地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和5年度～令和6年度(2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3		
	令和5年度	2 0 0 m3		
	令和6年度	8 0 0 m3		
	計	1, 0 0 0 m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	5,000	5,000	0
	令和6年度	20,000	20,000	0
	計	25,000	25,000	0
事業の必要性、 緊急性	・木曾川水系松川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約1kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・松川では、土砂堆積により部分的に流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は約200m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約1.0千m3である。			
浚渫目標	・令和5年度～令和6年度の2年間で、約1,000m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 木曾川水系赤沢川(一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	木曾川水系赤沢川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する木曾川水系赤沢川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市多度町香取地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和5年度～令和6年度(2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3		
	令和5年度	1, 500 m3		
	令和6年度	500 m3		
	計	2, 000 m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	2,000	2,000	0
	令和6年度	1,000	1,000	0
	計	3,000	3,000	0
事業の必要性、 緊急性	・木曾川水系赤沢川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約1kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・赤沢川では、土砂堆積により部分的に流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は約2,000m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約2,0千m3である。			
浚渫目標	・令和5年度～令和6年度の2年間で、約2,000m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 木曾川水系大杉谷川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	木曾川水系大杉谷川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する木曾川水系大杉谷川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市多度町御衣野地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和6年度 (3年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3 (1, 000 m2)		
	令和5年度	4, 000 m3		
	令和6年度	1, 000 m3		
	計	5, 000 m3 (1, 000 m2)		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	1,300	1,300	0
	令和5年度	4,000	4,000	0
	令和6年度	1,000	1,000	0
	計	6,300	6,300	0
事業の必要性、 緊急性	・木曾川水系大杉谷川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約1kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大杉谷川では、土砂堆積により部分的に流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は約5,000m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約5,0千m3である。			
浚渫目標	・令和4年度～令和6年度の3年間で、約5,000m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 木曾川水系長島川(一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	木曾川水系長島川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する木曾川水系大杉谷川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県桑名市長島町大島地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和6年度(3年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3		
	令和5年度	5 0 0 m3		
	令和6年度	4, 5 0 0 m3		
	計	5, 0 0 0 m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	5,000	5,000	0
	令和6年度	20,000	20,000	0
	計	25,000	25,000	0
事業の必要性、 緊急性	・木曾川水系長島川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約1kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・長島川では、土砂堆積により部分的に流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は約5,000m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約5,0千m3である。			
浚渫目標	・令和4年度～令和6年度の3年間で、約5,000m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	長島川に架かる無名橋に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系弁天川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系弁天川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する員弁川水系弁天川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県員弁郡東員町大字筑紫地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和6年度 (3年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	1 0 m3 (9, 4 0 0 m2)		
	令和5年度	9 0 m3		
	令和6年度	1 0 0 m3		
	計	2 0 0 m3 (9, 4 0 0 m2)		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	6,200	6,200	0
	令和5年度	2,000	2,000	0
	令和6年度	2,000	2,000	0
	計	10,200	10,200	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系弁天川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約3kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・弁天川では、土砂堆積により部分的に流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は約200m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約190m3である。			
浚渫目標	・令和4年度～令和6年度の3年間で、内水面漁協等に配慮しつつ約200m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系相場川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系相場川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する員弁川水系相場川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県いなべ市藤原町上相場地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和6年度(3年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3 (2,000 m2)		
	令和5年度	2,000 m3		
	令和6年度	3,000 m3		
	計	5,000 m3 (2,000 m2)		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	9,100	9,100	0
	令和5年度	8,000	8,000	0
	令和6年度	12,900	12,900	0
	計	30,000	30,000	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系相場川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約11kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・相場川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は約5,000m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約5.0千m3である。			
浚渫目標	・令和4年度～令和6年度の3年間で、絶滅危惧種のネコギギの保護、内水面漁協等に配慮しつつ約5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	相場川に架かる新相場川橋に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系田切川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系田切川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する員弁川水系田切川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県いなべ市北勢町向平地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和6年度(3年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	6 6 0 m3 (5, 6 4 0 m2)		
	令和5年度	3, 7 0 0 m3		
	令和6年度	3, 6 4 0 m3		
	計	8, 0 0 0 m3 (5, 6 4 0 m2)		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	3,400	3,400	0
	令和5年度	8,000	8,000	0
	令和6年度	8,000	8,000	0
	計	19,400	19,400	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系田切川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約9kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・田切川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は約8,000m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約7.3千m3である。			
浚渫目標	・令和4年度～令和6年度の3年間で、絶滅危惧種のネコギギの保護、内水面漁協等に配慮しつつ約8千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	田切川に架かる宮前橋に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系真名川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系真名川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する員弁川水系真名川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県いなべ市藤原町大貝戸地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和6年度 (3年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m ³)	令和2年度	0 m ³		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m ³		
	令和4年度	3 3 0 m ³		
	令和5年度	9 0 m ³		
	令和6年度	8 0 m ³		
	計	5 0 0 m ³		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	4,200	4,200	0
	令和5年度	2,000	2,000	0
	令和6年度	2,000	2,000	0
	計	8,200	8,200	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系真名川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約6kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・真名川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は約500m ³ であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約170m ³ である。			
浚渫目標	・令和4年度～令和6年度の3年間で、絶滅危惧種のネコギギの保護、内水面漁協等に配慮しつつ約500m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	真名川に架かる藤原橋に危機管理型水位計が設置されており、大雨の際には水位が観測される。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系空川（二級河川）		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系空川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所（所在地）)	三重県が管理する員弁川水系空川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県いなべ市大安町北垣内地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和6年度（3年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	1 0 0 m3		
	令和5年度	5 0 m3		
	令和6年度	5 0 m3		
	計	2 0 0 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	2,500	2,500	0
	令和5年度	2,000	2,000	0
	令和6年度	2,000	2,000	0
	計	6,500	6,500	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系空川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約1kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・真名川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は約200m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約100m3である。			
浚渫目標	・令和4年度～令和6年度の3年間で、絶滅危惧種のネコギギの保護、内水面漁協等に配慮しつつ約200m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。 堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量（発生土砂量）については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系員野川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系員野川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する員弁川水系員野川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県いなべ市北勢町小原一色地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和5年度～令和6年度(2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3		
	令和5年度	1, 000 m3		
	令和6年度	2, 000 m3		
	計	3, 000 m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	10,000	10,000	0
	令和6年度	20,000	20,000	0
	計	30,000	30,000	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系員野川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約6kmの二級河川であり、氾濫が発生した場合の被害は甚大である。 ・員野川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は約3,000m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約3,000m3である。			
浚渫目標	・令和5年度～令和6年度の2年間で、絶滅危惧種のネコギギの保護、内水面漁協等に配慮しつつ約3千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 員弁川水系員野川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	員弁川水系冷川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する員弁川水系冷川の河道内樹木伐採及び堆積土砂掘削を行うもの。 伐木、浚渫箇所：三重県いなべ市藤原町山口地先 【別図参照】			
実施予定期間	令和5年度～令和6年度(2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3		
	令和5年度	2,000 m3		
	令和6年度	500 m3		
	計	2,500 m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	10,000	10,000	0
	令和6年度	2,000	2,000	0
	計	12,000	12,000	0
事業の必要性、 緊急性	・員弁川水系冷川は、三重県の北勢地域に位置し、流路延長約2kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・冷川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約2,500m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約2.5千m3である。			
浚渫目標	・令和5年度～令和6年度の2年間で、絶滅危惧種のネコギギの保護、内水面漁協等に配慮しつつ約2.5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理につなげている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			